



第27号

平成30年7月27日

かしま 議会だより



郡体に向けて練習に励む選手たち（高田みんなの広場公園）

目次 Contents

6月定例会

6月定例会 2～3

町政のここが聞きたい一般質問（3名）… 3～4

常任委員会行政視察 5～7

主な議会活動 8

平成30年 第2回
6月定例会
6月4日～6日

報告ほか、専決処分、条例改正、補正予算など計19件及び固定資産評価員（1名）、固定資産評価委員会委員（2名）の同意案など提案され全案件を承認・可決・同意しました。

報 告

- 平成29年度嘉島町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
 - ・ 30億9,820万6千円を30年度へ繰越すもの
- 平成29年度嘉島町公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について
 - ・ 2億814万2千円を30年度へ繰越すもの
- 平成29年度嘉島町一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について
 - ・ 29年度に繰越した金額のうち9,012万2,323円を更に30年度へ繰越すもの
- 平成29年度嘉島町公共下水道事業特別会計事故繰越し繰越計算書の報告について
 - ・ 29年度に繰越した金額のうち1億7,191万400円を更に30年度へ繰越すもの
- 嘉島町民体育館災害復旧工事請負契約の変更について
 - ・ 請負金額を8,279,665円増額するもの（足場を組んだので、外壁のひび割れの補修も実施した）
- 嘉島町産業活性化センター（仮称）新築工事請負契約の変更について
 - ・ 請負金額を2,898,014円増額するもの（建物周辺の砂利敷き部分を舗装にした）
- 東部地区配水場整備工事請負契約の変更について
 - ・ 請負金額を943,610円増額するもの

議案審議 可決された議案

- 専決処分の報告並びに承認を求めることについて
 - 専議第4号 平成29年度嘉島町一般会計補正予算（第7号）
 - ・ 既定の歳入歳出予算の総額から1億159万3千円を減額し、歳入歳出予算の総額を97億6,348万1千円にしたもの
- 専決処分の報告並びに承認を求めることについて
 - 専議第5号 嘉島町税条例等の一部を改正する条例の制定について
 - ・ 地方税法の一部が改正されたことに伴い本条例の一部を改正する必要があるため
- 専決処分の報告並びに承認を求めることについて
 - 専議第6号 嘉島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・ 地方税法の一部が改正されたことに伴い本条例の一部を改正する必要があるため
- 嘉島町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・ 基準の一部が改正されたことに伴い本条例の一部を改正する必要があるため
- 嘉島町営住宅条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・ 災害公営住宅の設置に伴い本条例の一部を改正する必要があるため
- 嘉島町町道の路線認定について
 - ・ 藤田地区（上六嘉）の開発で築造された道路が開発業者から町に寄附されたため
- 嘉島町上六嘉荒尾団地（仮称）災害公営住宅等譲渡契約の締結について
 - ・ 災害公営住宅等の整備を「独立行政法人、都市再生機構九州支社」と締結したもの
- 嘉島町西村門ノ久団地（仮称）災害公営住宅等譲渡契約の締結について
 - ・ 災害公営住宅等の整備を「独立行政法人、都市再生機構九州支社」と締結したもの
- 嘉島町上島蔵園団地（仮称）災害公営住宅等譲渡契約の締結について
 - ・ 災害公営住宅等の整備を「独立行政法人、都市再生機構九州支社」と締結したもの

○嘉島町鯉浮明団地（仮称）災害公営住宅等譲渡契約の締結について

・災害公営住宅等の整備を「独立行政法人、都市再生機構九州支社」と締結したもの

○平成30年度嘉島町一般会計補正予算（第1号）

・既定の歳入歳出予算の総額に7,535万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を54億1,784万3千円としたもの

○平成30年度嘉島町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）

・既定の歳入歳出予算の総額に118万円を追加し、歳入歳出予算の総額を3億9,946万9千円としたもの

同意案件 同意された案件

○固定資産評価員の選任に付き同意を求めることについて

・石坂 英一氏（新任：税務課長）

○固定資産評価審査委員会の委員の選任に付き同意を求めることについて

・瀨上 昭六氏（再任：西村）

・杉本 優氏（新任：鯉）

答 建設課長

①平成28年熊本地震

結果について

③江津湖の環境調査（河道掘削のため）の

安全なのか

に流れる量）の計算で

870m³/S（一秒間

②平成9年出水規模

堤防等の復旧状況

①熊本地震で損傷した

と。現在の状況は。

まる恐れがあるとのこと

の影響で雨量が増え洪水

の危険性が以前より高

まると、地球温暖化等

やすい町になりました。

加勢川の改修により

浸水被害が減少し、住み

加勢川の安全性に

ついて

加勢川の安全性に



中津 芳春 議員

により被災した緑川水系の直轄管理区間の堤防等については、国土交通省の方で平成29年5月末までに全ての復旧を完了されています。加勢川についても、総延長約1kmの堤防等の復旧を平成29年5月末まで完了されています。

②中期的な目標として加勢川大六橋地点の目標流量を870m³/Sと定め、現在、下流から段階的に河道掘削を実施されているところです。将来的には1,100m³/Sを流下可能とする整備を実施していく予定となっております。

整備途上における出水や施設規模を上回るような可能性はありますので、ハード対策も重要ですが、避難を前提としたソフト対策も重要となります。現在平成29年度に設立した「緑川水防災意識社会再構築協議会」において、国・県・流域市町が一体となって、ソフ



ト対策の充実を図っているところ です。

③平成24年1月から平成28年2月まで実施した野田堰の試験閉門時の各種調査については、加勢川及び江津湖の水位、水質、魚類、植物及び周辺の地下水位等のモニタリングを実施されました。その結果、野田堰閉門による環境の著しい変化は確認されていません。今後実施する掘削工事においても、各種モニタリング調査を実施しながら整備を進めていくとのこと です。

問

道路の整備計画は



森田 義雄 議員

土地区画整理事業や民間開発による宅地造成により、人や商業施設が増え、活力と賑わいのある町に成りつつあるのは、大変喜ばしいことである。開発等に伴う基本的な道路整備構想はあるのか。

また、嘉島東ニュータウンの造成により、100戸近くが分譲される計画であるが、周辺のアクセス道路の拡張等の計画はあるのか。

町内においては、民間の開発により宅地が分譲され、良好な住環境づくりが進められているところであり、

答

建設課長

上六嘉区域内においても同様に宅地が分譲され、住宅の建築が進められております。

町の道路整備計画としては、安全で快適な道路の整備を基本方針に、主要な道路である町道上六嘉大六橋線、町道鯉下六嘉線等の整備を計画し、現在、町道上六嘉大六橋線の拡幅と歩道設置に取り組んでおります。

また、開発等による道路整備については、開発計画毎に計画区域、道路状況等を考慮しながら個別に検討しており、上六嘉区域内に於ける開発については、開発に合わせ県道六嘉秋津新町線へのアクセス道路で、造成地に接道する町道上六嘉地区8号線（池永譲二様宅（稲井啓一様宅）の狭隘な個所の拡幅工事を平成29年度に着手し、本年度の事業完了を見込んでおります。

じ、周辺の道路の整備状況を勘案しながら整備の検討を行います。

森田議員

開発等による道路整備については、計画区域や道路状況を考慮し、個別に検討しているとの答弁であったが歩行者にも運転者にも負担が少ない様な整備対応をお願いしたい。

また、嘉島東ニュータウンの入居者は、子育て世帯が大半で、東小学校の児童数も増加傾向で、東小校区の者にとつては、大変有難い事だと思っております。通学路に、通勤車両等が集中すると大変危険であるし、農道に分散すると、農繁期には、農家とのトラブルも発生するのではないかと心配します。県道六嘉秋津新町線へのアクセス道路だけでなく上六嘉集落の西を南北に縦断する、幹線町道である町道上六嘉大六橋線へのアクセス道路の拡幅も必要不可欠で

はないかと考えます。

鍋田 平議員



問 地震防災訓練の計画は

熊本地震発生から2年が過ぎましたが、今後地震発生の可能性が報道されています。町のホームページに防災に関することは掲載されていますが、町をあげての地震防災訓練の計画があるのか。

答 総務課長

防災訓練につきましては、現状として各区の自主防災会において防災資機材の点検をはじめ、熊本地震以降は一部で避難訓練や情報伝達訓練などを自主的に住民の方々と実施されるなど、自助共助の実践として災害時にも有効な

活動が行われています。

このような自主防災会の避難訓練など、地域コミュニティとしても重要な訓練活動を基本とし、町では「要援助者の把握」「災害時の情報伝達」等の連携に関し災害対策本部、議会、区長会、消防団等の団体を対象とした訓練の実施を考えています。

問 公民館の避難所としての役割は

熊本地震時公民館に避難していたら「公民館は避難所ではないので退去してください」と言われた住民の方がいる。自分で町指定避難所まで行けない方もいるので、今後、各区の公民館を町指定避難所にするという声もあり町は災害時の公民館の役割をどのように考えているのか。

答 総務課長

また、水質検査などの安全対策は実施されているのか。

町は町民体育館をは

じめとする公共施設を避難所に指定しており

各区の公民館は区の自主防災会の主要施設であると考えています。

今回の熊本地震の際も被災直後から各区において公民館を自主避難所として解放され、区長さんをはじめとする区代表の方々により管理運営が行われました。避難者の方々も地区の公民館ということで精神的な負担の軽減につながったと思われます。

このように行政の対応と、自主防災会の避難所運営等が協力し合うことにより、災害対応に大きな力を発揮すると考えています。

また、水質検査は実施しておりますが、災害時における飲料水につきましては備蓄品や協定に基づくペットボトルの水を配布する予定で

問 役場南側敷地の活用は

役場南側に町所有の敷地がありますが、現

在のところ利活用されていません。町民会館のイベント時に駐車場が不足することがあるので、臨時駐車場に使用するための活用が出来ないのか。他に活用を考えているのか。

答 社会教育課長

ご質問の敷地は、埋蔵文化財収納倉庫建設のため、平成23年度に取得しました。

財政事情等の理由により、建設が延期になっており、現在のある既存の嘉島中央公民館施設等を利用して作業を行っているところですが、作業スペースが手狭になった時には、財政状況等に応じて建設を検討致します。

また、臨時駐車場として活用してはとのことですが、開発、農地転用許可の目的と異なっておりますので、関係部署等と協議をして慎重に検討して参りたいと考えます。

経済厚生・建設常任委員会研修報告

〔研修者〕（経済厚生委員長）鍋田 平 （経済厚生副委員長）清崎 輝昭 （経済厚生委員）中津 芳春
（建設副委員長）森田 義雄 （議会事務局長）石阪 浩

期 日：平成30年5月7日（月）～5月9日（水）（報告者 中津 芳春）

○研修先：愛知県飛島村 一小さくてもキラリと光るむら とびしまー

愛知県の西南部に位置し、東は名古屋市に隣接し、南は伊勢湾に面している。北部の農村部は緑豊かな田園風景が広がり、南部の臨海工業地帯は、輸送関連会社・倉庫会社・木材関連事業所・鉄鋼関連事業所・火力発電所などが立地しており、中央部の伊勢湾岸自動車道の飛島ICの開通により、中部地方の物流の拠点となっている。面積22.53㎢、人口4,604人の小さな村であるが、財政力指数が毎年全国1位の裕福な自治体である。

研修事項1 日本一の健康長寿村づくりについて

愛知県より医療費高騰についての改善指導を受け、平成3年度より「日本一の健康長寿村づくり」をスローガンに、飛島村日本一健康長寿村研究会を発足させた。その理念は「村民の誰もが、健康で安らかな長寿を楽しみ、皆で支え合う豊かな村づくり」である。そのため、健康維持・増進、疾病や機能低下の予防など、積極的に健康な生活を送るための環境整備に努めてこられた。

特徴的な事業として

①小児生活習慣病予防事業

村内の小児生活習慣病の実態を把握し、早期発見・早期改善を推進。子どもの頃から肥満や糖尿病・高脂血症など生活習慣病について関心を持ち、正しい知識・望ましい生活習慣の普及を図り、生活習慣病の予防・減少につなげる事業（対象：小学校6年生、中学校3年生）

②オリジナル体操創作事業（キラリとびしま のびのび体操）

オリジナル体操を普及し、住民の意識の向上を図り、健康寿命の延伸を目指すとともに、世代間交流を促し、地域づくりにつなげる事業。

③長寿奉祝金支給事業（審査）

年齢区分に応じて、お祝い状及び奉祝金を支給

満90歳—20万円 満95歳—50万円 満100歳—100万円

研修事項2 子育て支援について

特徴的な事業として

①児童養育奨励事業

若年層住民の増加及び定住化を促進し、次代を担う児童等の健全な育成を図る

②子ども医療費支給事業

18歳到達後最初の年度末までの医療費を助成する

③チャイルドシート購入補助事業

チャイルドシート購入費の補助により、子どもを交通事故から守る

④海外派遣事業

村の将来を担う「人づくり」を目的とし、中学校2年生が対象

⑤子育て支援センター（平成30年3月31日開所）

就学前の子どもとその保護者が、いつでも気軽に遊べる場であり、保育士や保健師などの子育ての専門職員がいる。育児についての相談もできる。

○研修を終えて

飛島村は、国からの交付金がない裕福な村である。しかし、状況の変化により財政が悪化することもあるので、常に努力をし、また伊勢湾台風での多大な被害を受けたこともあり、安全（人の命を助けること）を第一に考え、村のお金を有効に使っているのか、次世代の子ども達の幸せにつながるのかを念頭に村政を行っていることを語られた。

○研修先：愛知県幸田町 一情熱が未来をつむぐまちー

愛知県中南部に位置し、中部圏の中心都市・名古屋市から45km圏内にあり、北は岡崎市、西は西尾市、南東は蒲郡市と接している。東西10.25km、南北10.55kmで面積は56.72㎢、人口は40,677人の町である。



飛島村役場全体協議会室

JR東海道本線や国道248号、明豊道路（国道23号バイパス）などの恵まれた交通基盤を背景に計画的に産業集積や住宅地整備が進められてきた。

研修事項1 企業誘致について

様々な産業を織り交ぜながら新しい産業を創出し、町民が幸せになれる町づくりを目指し、行政と地域が一体となり企業立地を支援。

①地域と企業を結ぶ人づくり

- 地域・産学連携の支援
- 次世代産業を担う人材育成
- 次世代を担う人材の育成

②世界とつなぐみちづくり

- グローバル物流ネットワークの形成
- 道路インフラの充実

③夢のあるまちづくり

- 企業が活動しやすいまちの実現
- まちの魅力アップ

研修事項2 都市計画マスタープランについて

町民アンケート調査や地域別まちづくり会議、パブリックコメント等により、町民の意向を踏まえ策定。JRの3駅と文化会館等のある地域の4つの地域をメインとしたコンパクトな市街地形成を目指されている。推進方策として、

●住民参加型のまちづくりの推進

①住民とのマスタープランの共有

幅広く住民や企業の意見を求める場を設け、息の長い活動を展開する。

②住民によるまちづくり活動への支援

住民などによるまちづくり活動に対し、支援し協力体制を確立する。

③住民参加型まちづくり事業の推進

多様化する住民や企業ニーズに応えながら、住民参加型の事業を進める。

●まちづくりの推進体制の充実

①まちづくり団体等との連携

「幸田町地域開発促進団体補助金交付要綱」を制定し、地域主体のまちづくりを支援

②進行管理と評価の体制づくり（PDCAサイクル）

計画の進行管理では、Plan（計画）Do（実施）Check（評価）Action（改善）サイクルによって、将来像の実現を目指す。

○研修を終えて

幸田町では、自動車産業だけに頼っていたら税収が落ち、財政が悪化する恐れもあるので、新産業を創出することに力を入れていた。そのために大学等と連携し先進的な取り組みを立案し、又各種のイベントを通じ企業の関心を誘い、企業誘致につなげておられた。将来を見据えた堅実な施策だと感じた。

○愛知県一宮市役所表敬訪問

昨年4月より被災地支援に係る職員1名（固定資産税業務）派遣について感謝を述べ、本町の復旧・復興状況について説明。副市長が対応され、今後も引き続き支援を続けたいとのこと。



幸田町会議室

総務・建設常任委員会研修報告

【研修者】（総務委員長）宮本 睦生 （総務副委員長）境野 隆文 （総務委員）川上 國治
（総務委員）春日 堅一 （建設委員長）富山 勝 （建設委員）川野 伸一

期 日：平成30年5月10日（木）～5月12日（土）（報告者：川野 伸一）

○表敬訪問：坂本哲志衆議院議員・園田博之衆議院議員（全国町村会館にて）

○研修先：北海道釧路市役所

平成17年に釧路市、阿寒町、音別町が合併、人口173,305人（H29.5月現在）面積は約1,363km²道内で3番目に広い。北海道の東部に位置し、南は太平洋に面し、阿寒摩周並び釧路湿原国立公園の



釧路市役所会議室

2つを擁する自然豊かな地域であり、夏期の最高気温の平均が21度台であることから長期滞在型の避暑地として知られている。基幹産業としては、農業、林業、水産業の第一次産業とそれに関連する食品加工、製紙・石炭鉱業及び観光業である。議会の議員定数は28名で、平成29年度一般会計当初予算は972億円、その内自主財源は約351億円（36.1%）となっている。

研修事項 市議会における大規模自然災害発生時の対応について

釧路市では、釧路沖地震（H5年）、東北地方太平洋沖地震（H23年）と大規模自然災害に見舞われており、多くの人命が犠牲になっていることを踏まえ、市の災害対策本部とは別に「釧路市議会災害対応指針」を策定し、本年4月から施行されています。有事の際には、議長が災害対策会議を招集し安否確認や被害状況の情報を収集・整理し、市本部に情報提供及び要望・提言を行う仕組みとなっていた。

○釧路市役所防災庁舎

平成27年3月に完成。延床面積7,194.68㎡ 鉄筋コンクリート造5階建て 中間免震（2・3階）

大規模災害の発生時においては、市役所の行政機能を維持するとともに、災害救助活動や応急復旧活動の体制を強化するため建設された。1階部分は津波が通り抜けるピロティ方式としたほか4・5階の災害対策本部室、電気室、避難所などの重要施設を大地震から守るため、2階と3階の間に、道内の新築公共工事では初めてとなる中間免震構造を採用されている。

津波発生時の一時避難所として、1,700人の受入れが可能で、災害によりインフラが寸断された場合においても、復旧までに必要とされる3日間の水食料、電気、汚水、雑排水に対応出来る施設となっています。



自家発電設備



中間免震構造

○研修先：北海道白糠町

北海道東部に位置し、東西は釧路市に隣接し南側は太平洋に面した丘陵な地形で、人口7,960人（H30.3月現在）面積は773.13km²の町である。昭和50年代までは炭鉱で栄え、ピーク時は14,900人程の人口が毎年減少している状況。基幹産業は農業、林業、水産業の一次産業と自然の豊かさをアピールした観光業となっている。議会の定数は13名で、平成30年度一般会計当初予算は86億2,500万円となっている。

研修事項 白糠町創生総合戦略について

白糠町の将来人口推計によると、2040年に4,605人、2060年には2,541人になると推計されており、人口減少に歯止めをかけるべく以下のような4つの総合戦略をたて、更に32項目の施策を実施することにより、目標とする長期人口ビジョンでは2040年で6,634人、2060年では5,325人を目指している。

①雇用（地方における安定した雇用を創出する）

主な施策：地域野菜や食用馬の肥育、害獣のエゾシカを食肉として販売する6次産業化の支援、薬用作物や産業用大麻の栽培調査研究による新産業の創出。

②定住・交流（地方への新しい人の流れをつくる）

主な施策：町有地を無償で提供し定住する若者の確保や地域公共交通ネットワークを再編（コミュニティバスやデマンドバスの導入）し安全な生活環境の形成を図る。

③子育て（若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える）

主な施策：小・中・高の一貫的な教育を推進するとともに国立大学への入学や医療技術専門の進路を叶えられるレベルの教育を支援。

④地域（時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する）

主な施策：東京23区との人的交流や日暮里マルシェ等への出店を通して広域連携による地域活性化を推進する。



議長の歓迎挨拶



記念品受領

主な議会活動 (平成30年5月から7月まで)

月 日	項 目	場所等
5月 7日 ～ 9日	常任委員会行政視察（経済厚生常任委員・建設常任委員）	愛知県幸田町 愛知県飛島村
5月 8日	上益城郡町村議会議長会臨時会（議長）	監査委員室
5月10日 ～12日	常任委員会行政視察（総務常任委員・建設常任委員）	北海道釧路市 北海道白糠町
5月13日	緑川水防演習（議長）	甲佐町
5月14日	嘉島町商工会通常総会（議長）	福祉センター
5月15日	九州中央自動車道建設促進沿線議会期成会理事会（議長）	御船町
5月16日	例月現金出納検査（清崎議選監査委員）	監査委員室
5月16日	嘉島町ふれあいセンター落成式記念式典（全議員）	嘉島町ふれあいセンター 「イースト」
5月17日	熊本中央一般廃棄物処理施設整備促進協議会第1回協議会（議長・森田）	甲佐町
5月19日	嘉島中体育祭（全議員）	嘉島中学校グラウンド
5月22日	平成30年度町村議会議長研修会及び臨時総会（議長）	熊本県自治会館
5月23日	九州中央自動車道建設促進沿線議会期成会熊本・宮崎両県合同理事会（議長）	御船町
5月24日	静岡県磐田市議会総務委員会行政視察	役場大会議室
5月24日	加勢川改修促進期成会及び地域高規格熊本環状道路建設促進期成会総会・意見交換会（議長）	ホテル熊本ニュースカイ
5月25日	議会運営委員会	役場庁議室
5月26・27日	東・西小学校運動会（全議員）	東・西小学校
5月28日 ～29日	平成30年度町村議会議長・副議長研修会（議長） 県関係国会議員への要望活動	東京国際フォーラム 全国町村会館
5月30日	九州中央自動車道建設促進期成会総会（議長）	御船町
5月31日	主要地方道矢部阿蘇公園線整備促進期成会同盟会総会（議長）	山都町
6月 4日 ～6日	第2回定例会 全員協議会	役場議会議場議員控室 議員控室
6月14日 ～7月5日	広報特別委員会（第27号・第1回～第3回編集会議）	監査委員室
6月20日	松前重義記念館運営委員会（議長）	嘉島町
6月20日	例月現金出納検査（清崎議選監査委員）	監査委員室
6月22日	上益城農協通常総代会（議長）	嘉島町民会館
6月29日	上益城消防組合平成30年第1回臨時議会（境野・川野）	上益城消防組合
7月11日	九州中央自動車道建設促進沿線議会協議会総会・決起大会（全議員）	ホテル高千穂
7月17日	熊本中央一般廃棄物処理施設整備促進協議会第2回協議会（議長・副議長・森田）	甲佐町
7月23日	熊本県町村監査委員研修会（清崎）	熊本県自治会館

募集してます。

みなさんの意見などお聞かせ下さい。
議会だよりの「声」も募集しております。

※次の議会は、**9月**に開催予定です。

議会の傍聴は議会当日に手続きすれば、どなたでも傍聴できます。

「声」の募集や傍聴などのお問い合わせは、議会事務局まで。(237-1111)

編集後記

梅雨も明け本格的な夏の時期を向えました。農家の方々は、6月から7月にかけて、麦刈り、田植、そして大豆の種まきと、一年でも一番慌ただしい時期だったと思います。

さて、6月定例会では、震災関連も含め、全ての案件が承認・可決されました。

その中でも、災害公営住宅が早期に整備される事を期待します。

これからも、議会及び復旧・復興を、町民の皆様に分かりやすくお伝え出来る様、広報委員一同努力して参ります。
(川野)

発行責任者

議長 川上國治

委員 宮本睦生
副委員長 春日堅一
委員 森田義雄
委員 中津芳春
委員 境野隆文
委員 川野伸一